



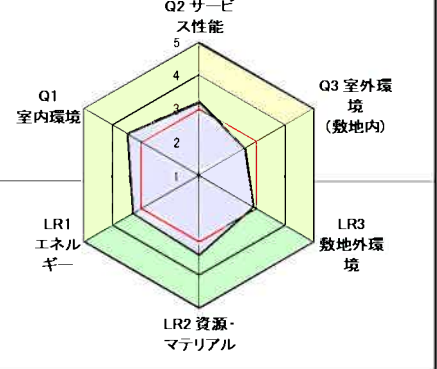
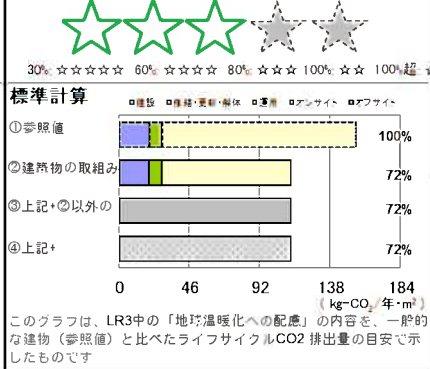
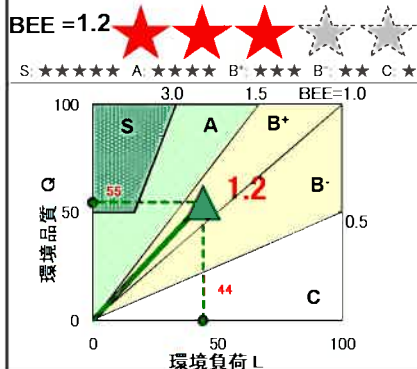
評価結果

■使用評価マニュアル CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

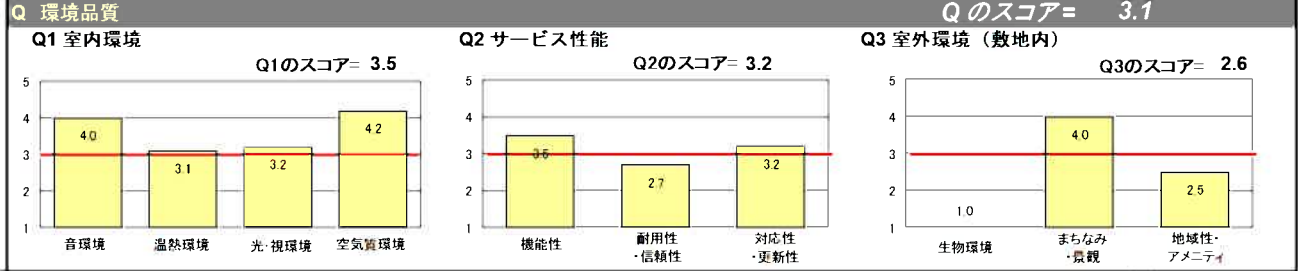
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌環状通東マンション計画	階数	地上11F
建設地	札幌市東区北14条東15丁目25	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年2月24日
敷地面積	699 m ²	作成者	佐藤 貢一
建築面積	356 m ²	確認日	2018年1月15日
延床面積	2,584 m ²	確認者	佐藤 貢一



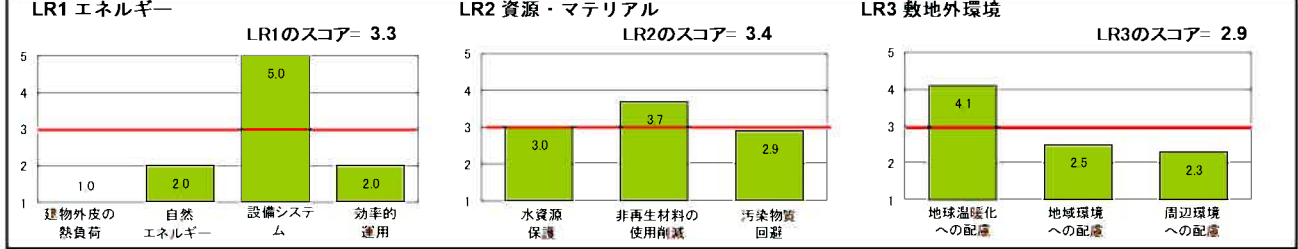
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート) Qのスコア = 3.1



LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2



3 設計上の配慮事項

<p>総合 地下鉄環状通東駅の出入りに隣接しており、利便性に優れている。 高層建築であるため敷地中央部に建物を配置し、北側に対する日影等を可能な限り最小限に留め、圧迫感を低減し近隣への配慮をしています 「建築基準法」その他札幌市の各種の条例等を遵守しています</p>	<p>A 省エネルギー 断熱を強化して「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準を満たしています</p>
<p>B 省資源等 乾式間仕切の採用吹付ウレタンの断熱材使用等分別の比較的容易な資材の採用をしています</p>	<p>C 緑化 エントランスの正面には主要道路に面し既存の街路樹があり、みどりのイメージを壊さないようエントランス周囲には構造物を施さないよう配慮した。</p>
	<p>D 雪処理 敷地内にはロードヒーティングを取り入れ、敷地外へ雪を出さないよう配慮をしています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q Quality (建築物の環境品質)、L Load (建築物の環境負荷)、LR Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)札幌環状通東マンション計画

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

□に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目	重点評価項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE Sapporo2014v1.2
(仮称)札幌環状通東マンション計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出						1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮						4.0	0.40	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制						1.0	0.20	-	-	1.0	
2 自然エネルギー利用						2.0	0.10	-	-	2.0	
3 設備システムの高効率化						5.0	0.50	-	-	5.0	
BEI 非住宅 0.34 住宅(専有部) 0.89											
集合住宅以外の評価(3a 3b)						4.0	-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)						5.0	1.00	-	-	-	
一次エネルギー消費量の低減を目標とする						2.0	0.20	-	-	2.0	
4 効率的運用											
集合住宅以外の評価											
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制						2.0	-	-	-	-	
集合住宅の評価						2.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制						1.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.7	0.60	-	-	3.7	
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.10	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.20	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						5.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	0.10	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						5.0	0.20	-	-	-	
建築材料のリサイクルの促進を旨とした建設						2.9	0.20	-	-	2.9	
3 汚染物質含有材料の使用回避						5.0	0.30	-	-	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						2.0	0.70	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						-	-	-	-	-	
1 消火剤						2.0	1.00	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)						-	-	-	-	-	
3 冷媒						-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮						4.1	0.33	-	-	4.1	
CO2排出の低減を目標とする						2.5	0.33	-	-	2.5	
2 地域環境への配慮						3.0	0.25	-	-	-	
2.1 大気汚染防止						2.0	0.50	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.25	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.3	0.33	-	-	2.3	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制						2.3	0.20	-	-	-	
1 壁面反射及び壁面照明の光害に与える光への対策						2.0	0.70	-	-	-	
2 窓式の建物外観による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-	
ガラスの大部分はバルコニー内に使用											

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物名称	(仮称)札幌環状通東マンション計画	総合評価			
建物用途	集合住宅				
延床面積	2,584.38 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>この建物は特に 省エネルギー性能 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア	
A 省エネルギー 合計 21点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 4.0 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 3.0 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
B 省資源等 合計 16点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
C 緑化 合計 8点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0
D 雪処理 合計 2点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 LR3 地域環境への配慮
	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
断熱を強化して「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の基準を満たしています		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
乾式間仕切の採用吹付ウレタンの断熱材使用等分別の比較的容易な資材の採用をしています	エントランスの正面には主要道路に面し既存の街路樹があり、みどりのイメージを壊さないようエントランス周囲には構造物を施さないよう配慮した。	敷地内にはロードヒーティングを取り入れ、敷地外へ雪を出さないよう配慮をしています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される